

学校名	宮城県白石高等学校七ヶ宿校	教科・領域等	総合的な探究の時間等
活動名	地域連携学習とボランティア活動	学年・時期	1～3学年（4～1月）

◆ **ねらい**

○地域社会において体験的な学習を行うことを通して、七ヶ宿町の良さや魅力を理解する。また地域の方々との交流や奉仕活動によって社会性を涵養し社会に貢献できる素養を身に付ける。

◆ **志教育の視点**

さまざまな人とコミュニケーションを図ることで自己理解に努め、深める。（かかわる）

◆ **実践の概要**

1. **育てたいこと、学ばせたいこと**

学習活動で得た「ものの見方や考える力」を生かし、探究活動に取り組む態度を育てる。学ぶ楽しさを味わいながら、達成感や成就感を得ることにより、自己肯定感を育てる。また、地域コミュニティにおける社会の一員として、その役割や生き方を涵養する。

2. **学習の様子**

○総合的な探究の時間

・【水と森クラブ班】の取り組み

本校の総合学習は、1～3年生が7つの班に分かれて1年間活動した。水と森クラブ班は、地元のNPO法人「水守の郷七ヶ宿」の協力を得て、七ヶ宿ダム周辺の低木伐採に必要な機器を学び実践するなど、自然豊かな七ヶ宿地域の環境整備に貢献した。

・【自然探究班】の取り組み

七ヶ宿町周辺の自然環境について、豊かな恵みや価値を探究し文化祭等で研究の成果を発表した。また、学校の環境美化の一環として植栽を活動にも貢献し、学校の通学路にヒマワリの花を植えるなどして、美しい学校づくりを目指した。

○ボランティア活動

本校では、毎年7月中旬に生徒、保護者、教職員、同窓会と協働し校地内を整備する「奉仕作業」を実施している。今年は32名が参加した。窓ふきや床清掃、草刈りを行った。9月には、七ヶ宿町に在住する高齢者世帯への手紙運動「NO!ぼっち運動」に参加して七校生の近況や学校行事などの様子などを手紙に綴り郵送した。高齢者の方から返信をいただき交流できたことや、自分自身が社会とかかわる<ツール>としての手紙文化を学んだ。年末には生徒会執行部と有志で「道の駅七ヶ宿」の清掃活動を行い社会貢献の一助を果たすことができた。



奉仕活動の様子

1. **実践を振り返って**

総合的な探究の時間では座学と違い実際に体験することによる「学び」の場となり苦勞を伴いながらも多くの経験を積んで、生き生きと活動に取り組むことができた。ボランティア活動では、学校内外での奉仕作業において自己の果たすべき役割を工夫し、社会性や勤労観を養うことができた。手紙運動では相手を思いやる気持ちと自らのメッセージを伝え、高齢者から感謝いただくなど自己有用感を培った。

4. **成果（○）と課題（●）**

○新型コロナウイルスの影響により、地域の皆さんと交流の場がない中で、手紙運動を通しての活動や、道の駅での清掃活動は、七ヶ宿町への帰属意識を深め生徒も町民の一人であることへの理解につながり、来年度への志教育へつながる成果となった。

●地域に必要とされる学校として、地域関係者からの学校評価も高い中、長期間の中断があった交流等が滞りなく円滑に実施できるよう、工夫が求められる。

●ボランティアは、要請があつての実施や教育活動に位置づけられた受け身の活動だけになることなく、小さな気付きで地道な活動を継続して行う視点も必要である。

学校名	宮城県白石高等学校七ヶ宿校	教科・領域等	特別活動等
活動名	コミュニケーションづくりと就業体験	学年・時期	1～3学年（4～3月）

◆ **ねらい**

- 様々な世代の方々交流を通して社会性を身に付け、適切なコミュニケーション能力を培う。
- 職場訪問や見学，体験学習を通して職業へのイメージを持たせ，社会的・職業的に必要な能力や態度を育てる。

◆ **志教育の視点**

様々な世代の方々と接しながら，自己理解を深めることができる。（かかわる）
 学校行事に参加して自分の役割を果たすことで自己有用感を高める。集団の一員としての自覚を持たせる。（はたす）

◆ **実践の概要**

1. **育てたいこと，学ばせたいこと**

就業体験や職場見学を通して，自己有用感を高め社会の一員としての自覚を持たせる。
 学校行事（文化祭）への参加により，開かれた学校づくりに貢献する。

2. **学習の様子**

○就業体験・企業訪問の実施



インターンシップ（就業体験）

七ヶ宿町や仙南地域の事業所の協力をいただき，1・2年生を対象に11月中旬より2～3日間の就業体験（インターンシップ）を実施した。
 生徒はこの体験を通して地域の産業と文化を知り働くために必要な知識や実際の技術を知ることができた。各事業所で温かく丁寧に指導いただいたことで就業の意義も十分に理解することができた。
 1年生は，将来自分がなりたい職業の適性を考え，進路目標の意識付けを図るため，仙南地域の伝統民芸品（こけし）制作現場と仙台空港近くの航空機専門学校を訪問。価値観や視野を広げ貴重な経験を積むことができた。

○文化祭（白七祭）での取り組み

毎年10月下旬に開催する文化祭では，総合学習や文化クラブで取り組んだ内容を発表する機会となっている。ダンスや音楽のステージ発表も行った。今年度は，新型コロナウイルスの影響で保護者への公開のみとなり，地域の方々をご招待できなかったのは残念であった。

今年度もPTAバザーを開催し，生徒やご来場いただいた保護者，教職員で協力し合いながら，交流の機会を持ち，七校生が展示内容を説明するなど，自己肯定感を高めることができた。



白七祭（PTAバザー）

3. **実践を振り返って**

白七祭では，生徒自身が来校者に声をかけ，挨拶や説明する様子が見られた。来年度は生徒，教職員で町民の方々と温かくかわり交流を深めていき，生徒のコミュニケーション力の向上を図りたい。

4. **成果（○）と課題（●）**

- 就業体験や企業訪問は生徒にとって主体的な進路選択や職業観を培う動機付けとなった。
- 文化祭を通じて，生徒のコミュニケーション力や自己肯定感を育てることができた。
- 生徒が自ら考えて他者と接する姿勢が不足しがちで，教員が後押しし，促す場面も必要。